育をおこなっています。 広場と一時預かり保育、 最近は、仕事に早く復帰する保 水口子育て支援センターでは、 病後児保

は働きにくい方もおられるようで 帰する際に出産前と同じ条件で い方が活躍できる環境づくりと る人がいない家庭では、 もおられます。 病中でも働かなければならない方 護者が増えていますし、子どもが また、 就労意欲や能力を発揮. 近くに子どもを見てくれ 仕事に復

> の場合は子育ての不安ということよ 場所での情報交換は大切ですし、私 幼稚園に通わせていません。こういう

りも友達づくりを目的に来ています。

親が助かると思います。

病児保育があったりすれば、

い時間まで預かっていただいたり、

できたのはよかったです。

子どもは一歳半で、まだ保育園や

ここでの時間を大切にしています。 き、子どもも親も安心して過ごせる の子どもたちと一緒に遊ぶことがで れ出せませんが、ここでは同じ年齢

仕事を持つお母さんのために、

遅

育て支援センターに来たことで、た

に知り合いがいませんでしたが、子

し、天気が悪いと公園など外にも連

家にいては一人遊びしかできない

私自身が地元の出身ではなく周囲

孤溪

くさんの知り合いや同世代の友達が

保育士 奥村

お願いします。今後

一時預かり

教子さん

るのではないでしょ

水口子育て支援センター勤務

ます。 ので、早めの相談を 必要となっています 保育は、事前予約が という申し出があり もを預かって欲し

THE THE THE THE THE THE THE THE SHE THE THE て病児保育は今後とても必要にな いつでもお気軽においでください 知っていても来ることができな や仲間づくりをされている方が できるだけ対応していければと ンターへおいでください。 て支援センターを知らない人や あります。その一方で、子育 トフォンなどでいろいろな情報 い人もあって心配しています。 子育てに負担や不安を感じた 若いお母さんたちは、スマ 保護者のニーズに合わせて、 いつでもお気軽に支援セ

澤田

陽子さん

市のポータルサイトあれば

子ども・子育て応援団 支援事業計画策定委員

曲番さん

でしょうか。 ことが大切ではない 報を伝えていただく 母親にしっかりと情

子育ては見えにく

ます。

ターに来て教えてもらったりしてい

子育てを社会で応援 いですが、 する」という機運の 子ども・

子育てすることで、

安心感を持つこ

同じ立場のお母さんたちと一緒に

話しながら情報交換にも役立ててい

保健室のような部屋があれば、

迎えに行けないので、

保育園の中に

職場や家が保育園から遠いと直ぐに

とができます。 保育園のことなどを

と考えています。 後どう伝えるかが課題でもある 市では子育て支援セン

> 子どものことで休むことには理解が の経験がある方ばかりだったので、

ありましたが、職場によってはそう

いていました。職場の仲間は子育て

私も以前、上の子どもを預けて働

でない所もあると思います。

策定委員会に参画させていただ プリコット」の代表として計画

私は就園前の子育て団体「ア

きます。でも、実際に負担や不 日開設されています。児童館も 診などのタイミングを逃さず、 も増えているので、 い場合が多いのです。今はほと ような場所になかなか出てこな 安に悩むお母さんたちは、その と訪れる場所が増えたと実感で あり、子育て親子が日中にふらっ んどが核家族ですし、シングル 行政には健 ムをほぼ毎

れていますので、今困っている

トやニーズ調査をもとに策定さ

この計画は、市民へのアンケー

委員として期待しています。

中長期的な計画部分は、今

人にどれだけ実行性があるか、

せていただき、ご理解いただけ

<sup>-</sup>子育て」は

社会で応援することが大切

している活動の必要性を発言さ

普段から私たちが考えて行動

たのではと思っています。

ついて、 一人目の子どもなので、子育てに 姉に聞いたり、子育て支援セン わからないこともあります

恭仁子さん

病気のときが 一番心配

困るのは、病気の時です。自分が

と思っています。 病院に行きたいときなど、急に子ど ていただけるといいですね。 もを預けられる施設があればいいな また、子どもが病気の時も預かつ 自分の

助かると思います。 センターへ行かなくてもスマホで色 るとうれしいですね。市役所や保健 子育てのポー んな情報がどこででも見られたら、 から聞いたりして知りますが、市の 育て情報はお母さん同士の話や、 育ての場は、やはりお母さんです。 私は新聞を購読していないので子 夫が育児に協力的であっても、 ータルサイトなどができ 子

方が私の周りにおられます。

保育園に預けて仕事に出て行かれる

育てたいけれど、

いろいろな事情で

子どもが3歳になるまでは、家で

からか 平成 27年5月1日

あゆみさん

安心して過ごせる

時間を大切に